

学校保健

(題字は元北海道学校保健会会長 吉田 信)

発行
公益財団法人北海道学校保健会
札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館5F
☎(011) 221-5240



児童生徒の健やかな心身の発達をめざして

北海道養護教員会 会長 鈴木美和
公益財団法人北海道学校保健会 理事

北海道学校保健関係者の皆様には、日頃より学校保健の充実・発展と健康教育推進のために多大な御指導・御協力をいただき心より感謝申し上げます。

北海道養護教員会は北海道の各種学校や教育委員会に勤務する養護教諭の研究団体です。本会は今年設立73周年を迎えました。会員1,229名が全道15支部に分かれ、それぞれの支部において研究・研修を重ねるとともに、年に1度全道研究大会を開催し、養護教諭の資質向上に努めております。

コロナ禍の3年間はこの全道大会を会場で開催することができず、大変残念だったのですが、研究集録発行と講演の動画配信という内容で研究大会を途切れることなく繋いでいくことができました。そして、この夏、4年ぶりに第53回北海道養護教員研究大会が渡島檜山支部が主管し、1部ではありますが、函館市の会場で会開催を実施することができました。「21世紀を担う児童生徒の健やかな心身の発達をめざして～これからの養護教諭の職務はいかにあるべきか～」を研究主題とし、

特別講演には、むかわ町国民健康保険穂別診療所副所長 香山リカ氏より「養護教諭としてイキイキ働くために～精神科医からのアドバイス～」と題して御講演いただきました。また講座では地元函館で活躍されている3人の講師をお招きし、御講演いただきました。久しぶりに講師の顔を見て、生の講演を聞けること、養護教諭同士が集って学びを深めることができ、大変有意義な時間となりました。

学校現場では、子どもたちの健康課題が多様化・複雑化する傾向にあり、その子どもたちを見守り、支援していくことが保健室に求められています。これからも、仲間とともに学び合える機会を大切にしながら、養護教諭の資質の向上に努めていきたいと思っております。

また、学校職員のみならず、子どもに関わる多くの方々や関係機関との連携が大切であると考えております。

北海道学校保健会をはじめ関係機関の皆様のお一層の御指導・御支援を宜しくお願い致します。

目次

○巻頭言 「児童生徒の健やかな心身の発達をめざして」	
北海道養護教員会 会長 公益財団法人北海道学校保健会 理事 鈴木美和	…… 1
○令和5年度学校保健功労者表彰受賞者の紹介	…… 2
○保健室シリーズ「予防で助ける命～暑さに慣れていない地域での熱中症対策～」	
白老町立萩野小学校 養護教諭 中田未来	…… 4
○令和4年度公益財団法人北海道学校保健会事業報告	…… 7
○令和4年度公益財団法人北海道学校保健会決算報告	…… 8

令和5年度 学校保健功労者表彰 受賞者の紹介

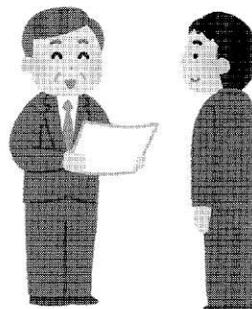
この表彰は、本道の学校保健(学校安全を含む)の振興に功労のあった学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教職員などの学校保健関係者及び団体を北海道学校保健会が表彰して、その功労に報い、もって本道学校保健の推進に寄与しようとするものです。

令和5年度は、関係機関から74名の推薦がありました。審査、選考の結果、下記の学校医30名、学校歯科医28名、学校薬剤師13名、教職員3名の計74名の方が受賞の栄誉に輝きました。永年にわたって本道の児童生徒の健康保持増進のためにご尽力くださいました受賞者の皆様には深く感謝の意を表します。

(敬称略)

職名	氏名	勤務(担当)校	職名	氏名	勤務(担当)校
学校医	田口 浩之	江別市立上江別小学校 ほか1校	学校医	澤井 園郎	札幌市立西宮の沢小学校
〃	内藤 貴文	江別市立対雁小学校 ほか3校	〃	末岡 裕文	札幌市立平岡小学校 ほか1校
〃	村上 和博	江別市立野幌中学校 ほか1校	〃	五十嵐 陽	札幌市立伏見中学校 ほか1校
〃	寺倉 直明	千歳市立末広小学校 ほか7校	〃	岡田 昭人	札幌市立幌東小学校 ほか3校
〃	兵藤 俊樹	千歳市立末広小学校 ほか5校	〃	菅沼 俊哉	札幌市立平岡公園小学校 ほか6校
〃	櫻井 裕子	石狩市立花川小学校 ほか5校	〃	村形 寿郎	札幌市立伏見小学校 ほか3校
〃	梅本 亨	石狩市立生振小学校 ほか6校	〃	横浜 優樹	札幌市立新琴似北小学校 ほか3校
〃	酒井 勲	北見市立緑小学校	学校 歯科医	横田 光弘	江別市立中央中学校
〃	望月 秀克	北見市立小泉中学校	〃	高津 良二	北広島市立東部小学校
〃	岡本 知士	北斗市立上磯中学校	〃	小川 拡成	石狩市立緑苑台小学校
〃	竹澤 裕之	帯広市立開西小学校 ほか	〃	吉田 康仁	函館市立戸倉中学校
〃	半谷 公彦	帯広市立西小学校 ほか	〃	小田 大作	音更町立駒場小学校 ほか3校
〃	三國 尚志	帯広市立若葉小学校 ほか	〃	石川 一郎	帯広市立西陵中学校
〃	川口 竜一	滝川市立滝川第三小学校 ほか市内全小中高等学校	〃	長谷川 賢	帯広市立第七中学校
〃	國本 清治	登別市立幌別東小学校	〃	山口 伸人	帯広市立つつじが丘小学校
〃	加藤 茂治	苫小牧市立北光小学校	〃	市川 大	帯広市立光南小学校
〃	菅原 洋行	苫小牧市立緑陵中学校	〃	笹原 大輔	帯広市立明星小学校
〃	藤田 伸夫	苫小牧市立錦岡小学校	〃	濱中 征三	北海道釧路鶴野支援学校
〃	加藤 健	富良野市立麓郷小学校 ほか2校	〃	依本 卓見	芦別市立芦別中学校
〃	秋葉 純	旭川市立正和小学校 ほか4校	〃	古谷 忠典	室蘭市立みなと小学校 ほか市内全小中学校
〃	土田 晃	旭川市立北光小学校 ほか1校	〃	菅野 秀俊	苫小牧市立和光中学校
〃	若井 周治	札幌市立中の島小学校	〃	中 慶三	苫小牧市立拓勇小学校
〃	高橋慎太郎	札幌市立新琴似北小学校	〃	泉原 良彰	旭川市立千代田小学校

職名	氏名	勤務(担当)校	職名	氏名	勤務(担当)校
学校 歯科医	國奥みどり	旭川市立東陽中学校	学校 薬剤師	丸山 剛	旭川市立啓明小学校
〃	柴田 敏也	旭川市立啓北中学校 ほか1校	〃	松田 美樹	旭川実業高等学校
〃	詫摩 安廣	旭川市立永山南小学校	〃	齋藤佳穂里	札幌市立平和通小学校
〃	増木 英郎	旭川市立嵐山小学校 ほか1校	〃	佐藤 浩明	札幌市立米里中学校
〃	池田 浩之	札幌市立新琴似西小学校	〃	鈴木 由夫	札幌市立手稲西中学校
〃	江頭 尚子	札幌市立西小学校	〃	仙場三和子	札幌市立柏中学校 ほか1校
〃	杉澤 裕	札幌市立本通小学校	〃	永井 明美	札幌市立あいの里東中学校
〃	富野 晃	札幌市立栄緑小学校 ほか1校	〃	藤澤 玲二	札幌市立あやめ野小学校
〃	仁平 隆	札幌市立東白石小学校	教職員	岡本紀久子	留寿都村立留寿都小学校
〃	埴 雅昭	札幌市立陵陽中学校	〃	小笠原麻実子	札幌市立日章中学校
〃	林 明宏	札幌市立札幌中学校	〃	萬徳 雅美	市立札幌新川高等学校
〃	山口 勝	札幌市立中央中学校			
学校 薬剤師	根本 伸子	北見市立美山小学校			
〃	柳原 正明	函館市立赤川小学校			
〃	栗林 雅広	小樽市立銭函小学校			
〃	太田 豊	北海道室蘭聾学校			
〃	須田 宣明	富良野市立扇山小学校			



令和5年度 第70回 北海道学校保健・安全研究大会 札幌大会

- ◆日 時／令和5年11月26日（日）
- ◆会 場／ホテル ノースシティ 札幌市中央区南9条西1丁目1-20
- ◆大会主題／「生涯を通じて、心豊かにたくましく
北の大地を生きる子どもの育成を目指して」
～都市と自然調和する美しいまちから
自立した札幌人の育成を目指し well-beingにせまる～

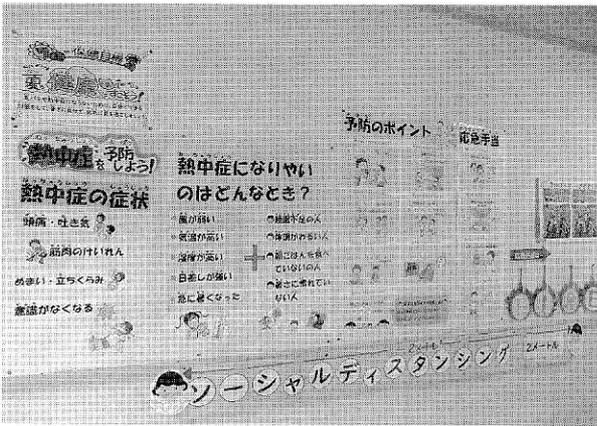
今年度の学校保健功労者表彰を受賞される皆様につきましては、上記の研究大会の中で行われる表彰式で、公益財団法人北海道学校保健会の松家会長より表彰楯が授与されます。

また、当日欠席される皆様におかれましては、それぞれが勤務されております学校または市町村教育委員会より表彰楯が渡されます。

児童へは、保健便り、掲示物を作成し、学級指導で活用できるようにしました。



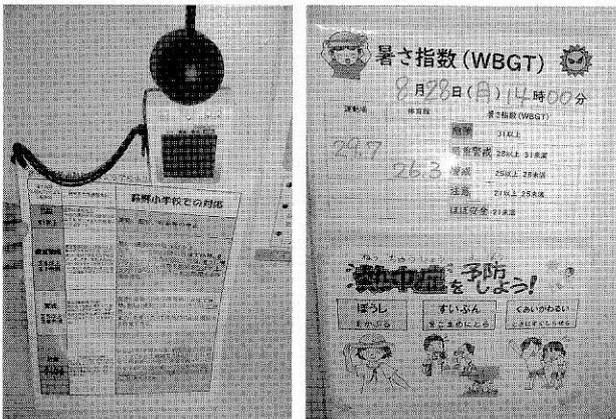
※WBGT計を使用することを保護者へ周知



※保健室前の掲示物

② WBGT計を用いた対策

各教室、体育館にWBGT計を設置し、運動場は養護教諭が1時間に1回測定し、職員室、児童玄関、運動場付近の3カ所の掲示板に記入し、いつでも数値がわかるようにしました。



※各教室のWBGT計と暑さ指数での対応方法(左)
運動場と体育館の暑さ指数を記入する掲示物(右)

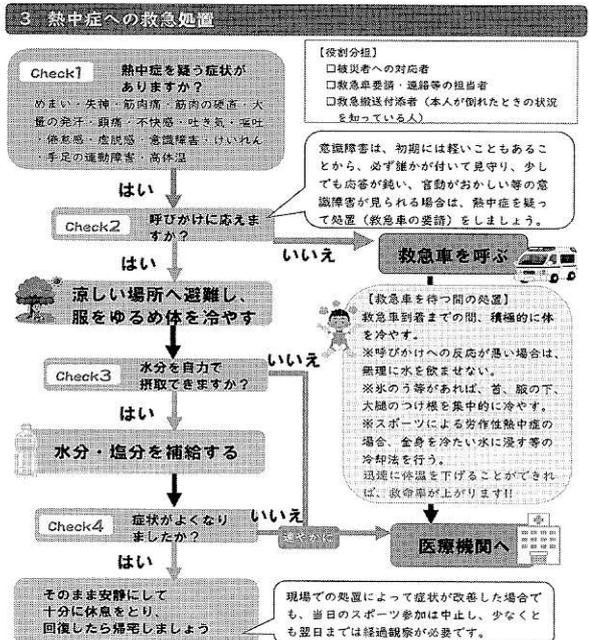
また、水分補給や休憩、運動中止等の基準があると教職員が対応しやすいと考え、熱中症予防運動指針を参考にして、基準と対応を決め、教室のWBGT計と一緒に掲示しました。

裏面には、熱中症の救急対応マニュアルを載せました。

熱中症予防運動指針による学校生活

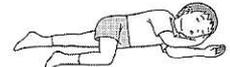
暑さ指数(WBGT)による基準域	熱中症予防運動指針	萩野小学校での対応
危険 31以上	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべし。	運動、遊び、行事等の中止
厳重警戒 28以上 31未満	厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10~20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。	激しい運動や持久走は中止 屋外:10~20分おきに日陰で休憩。暑さに弱い人(体力が低い、肥満、暑さに慣れていない)は、運動を軽減または中止。 室内:10~20分おきに水分補給する時間を作る。
警戒 25以上 28未満	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。	屋外:必要に応じて積極的に日陰で休憩。激しい運動では、30分おきくらいに休憩。 室内:必要に応じて積極的に水分補給する時間を作る。
注意 21以上 25未満	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。	WBGT21を超えたら、水筒を机の近く置きいつでも水分補給できるようにする。体育や特別教室の時は、水筒を持っていく。 ※低学年では、喉が潤ったことに気づかない児童もいるため、担任が積極的に水分補給するように声をかける。

※WBGT計の指数による本校の対応(表面)



【熱中症救急セット】(職員室中田の机上・体育館の2カ所にある)
◎経口補水液(500ml) ◎紙コップ ◎アイスパック 2つ
◎うちわ 1つ ◎バスタオル ◎記録用紙
※応急手当をするとともに、すぐに養護教諭・管理職へ連絡する。

※嘔吐が心配される場合は回復体位にする。



※熱中症の救急対応マニュアル(裏面)

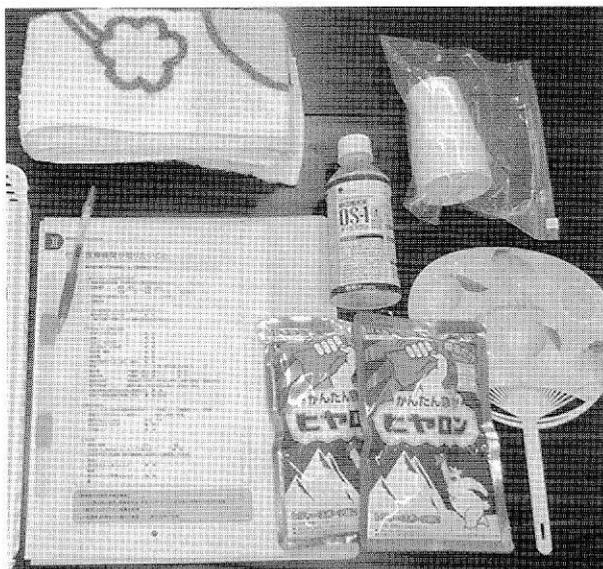
暑さ指数によって、屋外での活動が中止になる場合は、養護教諭が放送で知らせました。また、休み時間後の手洗い放送とともに、こまめな水分補給、少しでも具合が悪くなったらすぐに伝えるなど、子どもたちへの呼びかけも継続的に行いました。

③ 熱中症対策グッズの設置

熱中症の症状があった場合に、迅速に応急手当が実施できるように職員室と体育館に、熱中症対策グッズを設置しました。また、暑さ指数21以上（熱中症による死亡事故が発生する可能性がある）の時に、屋外で活動する場合は、職員室から熱中症対策グッズを持って行くように教職員へ周知しました。

救急処置グッズの内容

- ・経口補水液
- ・紙コップ
- ・瞬間冷却パック
- ・うちわ
- ・バスタオル
- ・記録用紙



④ 保健室対応

暑さが厳しい時期（暑さ指数28前後）は、移動式エアコンを保健室に設置して、涼しい環境作りをしました。

また、頭痛や吐き気など、熱中症の疑いがある症状を訴えて来室した場合は、1日の暑さ指数を確認し、指数が高くなる予想であれば、保健室で休養後、症状が良くなって教室へ戻っても、再び具合が悪くなる可能性が高いため、保護者へ連絡し早退の措置を取りました。

⑤ 猛暑日の対応

熱中症警戒アラートが発令されるなど、猛暑日が続いた日には、冷却グッズの持参を可能（機械類、スプレーなど、音や臭いなどが出るもの以外）にしました。

また、午前授業にするなど短縮授業も実施しました。

(3) 取組の成果と課題

【成果】

- ・暑くなる前から熱中症対策の取組について、教職員へ提案したため、学校全体で熱中症対策に対する共通理解をしっかりと行い、子どもの命を最優先に考えた対応を学校全体で実施することができた。
- ・暑さ指数による対応方法を統一することで、教職員も迷うことなく、数値を確認して判断することができた。また、厳しい暑さが続いている日は、各学級の体育の授業内容を管理職と確認し、実施するか慎重に判断した。
- ・保健室対応では、移動式エアコンを保健室に設置することで、涼しい環境を作ることができ、体調不良の児童が来室したときに休養させることができた。また、保健室で休養した後、教室へ復帰しても、再び体調不良になることが予想されたため、早退措置を取ることで症状の悪化を防ぐことができた。

【課題】

- ・熱中症警戒アラートが数日続く、猛暑日があり、急遽、冷却グッズの持参を可能にしたが、もう少し早い時期から持参を可能にする必要があると感じた。来年度は、冷却グッズを紹介する保健だよりを発行する。
- ・自転車や車で登校する児童が多く、帽子を被らない児童が多く見られた。直射日光から身を守るために必要であるため、子どもたちになぜ必要なのか根拠を付けて指導する。

3 おわりに

今後は、近隣の学校と熱中症対策の具体的な交流を行い、町全体で子どもたちの命を守るための対策を考えていきたいと思っております。また、快適に安心して、子どもたちが授業を実施できる環境になることを願っています。

令和4年度 公益財団法人 北海道学校保健会事業報告(概要)

【運営会議】

- 04.5.28 第1回理事会
- 04.6.18 第1回評議員会
- 04.7.1 第2回理事会 (書面会議)
- 05.1.21 第3回理事会
- 05.2.11 第2回評議員会

第1 専門医健診推進事業

学校の児童生徒の健康診断において専門医(眼科・耳鼻咽喉科)の確保が困難な教育委員会に対し、北海道教育委員会、北海道医師会、北海道眼科医会、北海道耳鼻咽喉科医会の協力を得て専門医の紹介を行い、児童生徒の健康の保持増進に努めた。

【眼科】6町村 36校 1,038人

江差町、苫前町、初山別村、津別町、湧別町、別海町

- 小学校21校 639人、中学校14校 389人
- 義務教育学校 1校 10人

【耳鼻咽喉科】12市町村 30校 1,517人

石狩市、留寿都村、江差町、苫前町、遠別町、初山別村、豊富町、中頓別町、枝幸町

- 保育園 1校 4人、小学校26校 932人
- 中学校14校 543人、義務教育学校2校 21人、小中併置校2校 17人

第2 研究啓発事業

1 北海道学校保健研究大会

(日本学校保健会委委託事業)

各関係団体と連携して主催し、第69回北海道学校保健・安全研究大会根室大会の充実に努めた。学校・家庭・地域社会が連携し、課題解決を図るべく研究会を開催した。講演会を開催し、部会別協議を通して、児童生徒の健康の保持増進に貢献した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、根室管内は集合、他地域はオンラインによるハイブリッド開催とした。

日時/令和4年11月20日(日)

会場/根室市

北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)

2 学校歯科保健研究大会・学校保健講演会

(1) 北海道学校歯科保健研究大会

日時/令和4年10月28日(金)

会場/北海道歯科医師会館 2階大講堂

第3 普及発展事業

1 広報活動事業

本道の学校保健の充実発展を図るため、会報「学校保健」を年3回発行し、当会の活動内容の周知及び各種学校保健活動を紹介し、学校保健思想の普及発展を図った。

- ・第117号(6月30日発行)
- ・第118号(9月30日発行)
- ・第119号(1月31日発行)

2 学校保健資料収集配布事業

公益財団法人日本学校保健会刊行物の配布

- ・道、市町村教委、公立小、中、中等、特別支援学校へ配布。高等学校は直送。

第4 顕彰奨励事業

本道の学校保健(学校安全を含む)の振興に功労のあった学校保健関係者の個人を表彰し、その功労に報い、もって本道の学校保健の進展に寄与しようとするものである。

北海道学校保健・安全研究大会において表彰する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、11月20日付けで各推薦団体より表彰した。

学校医50名、学校歯科医33名、学校薬剤師10名、教職員2名の合計95名

*** お詫びと訂正 ***

会報「学校保健」第120号の目次で、中標津町立中標津東小学校の荒井健先生の職名が間違っておりました。この場をかりてお詫びを申し上げ、訂正させていただきます。

【誤】養護教諭 荒井 健

↓

【正】主幹教諭 荒井 健

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	5,127,714	4,699,378	428,336
基本財産受取利息	5,127,714	4,699,378	428,336
②道補助金	0	0	0
③事業収入	1,234,200	5,403,500	△4,169,300
心検推進負担金	0	4,347,000	△4,347,000
受託事業収入	200,000	40,000	160,000
受取負担金	1,034,200	1,016,500	17,700
④雑収入	3,431	3,431	0
受取利息	63	63	0
雑収入	3,368	3,368	0
経常収益計	6,365,345	10,106,309	△3,740,964
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	964,080	1,297,800	△333,720
臨時雇賃金	0	110,000	△110,000
福利厚生費	159,280	216,306	△57,026
旅費交通費	74,665	1,605	73,060
通信運搬費	58,216	90,000	△31,784
消耗品費	0	70,880	△70,880
印刷製本費	898,989	547,602	351,387
賃借料	354,864	477,708	△122,844
諸謝金	15,000	6,000	9,000
租税公課	0	0	0
会議費	11,354	0	11,354
報償費	703,250	724,370	△21,120
支払納付金	0	2,650,880	△2,650,880
支払手数料	0	941,585	△941,585
事業費計	3,239,698	7,134,736	△3,895,038
②管理費			
給料手当	889,920	556,200	333,720
福利厚生費	141,467	87,132	54,335
委託料	375,540	422,650	△47,110
会議費	4,752	2,376	2,376
旅費交通費	151,120	89,580	61,540
通信運搬費	271,058	302,028	△30,970
消耗品費	770	30,811	△30,041
印刷製本費	28,261	2,678	25,583
賃借料	330,216	207,372	122,844
租税公課	70,000	70,000	0
支払負担金	656,511	666,681	△10,170
雑費	83,818	5,766	78,052
管理費計	3,003,433	2,443,274	560,159
経常費用計	6,243,131	9,578,010	3,334,879
当期経常増減額	122,214	528,299	△406,085
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増加額	122,214	528,299	△406,085
当期一般正味財産増加額	122,214	528,299	△406,085
一般正味財産期首残高	206,753,981	206,225,682	528,299
一般正味財産期末残高	206,876,195	206,753,981	122,214

II 指定正味財産増減の部			
①受取寄付金	20,000	20,000	0
募金収益	20,000	20,000	0
当期指定正味財産増減額	20,000	20,000	0
指定正味財産期首残高	2,317,000	2,297,000	20,000
指定正味財産期末残高	2,337,000	2,317,000	20,000
III 正味財産期末残高			
	209,213,195	209,070,981	142,214

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	4,138,681	4,016,467	122,214
定期預金	0	0	0
未収入金	0	0	0
有価証券	0	0	0
流動資産合計	4,138,681	4,016,467	122,214
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	44,981	44,981	0
投資有価証券	202,655,019	202,655,019	0
基本財産合計	202,700,000	202,700,000	0
(2) 特定資産			
その他の特定資産	2,337,000	2,317,000	20,000
特定資産合計	2,337,000	2,317,000	20,000
(3) その他固定資産			
什器備品	37,514	37,514	0
その他固定資産	37,514	37,514	0
固定資産合計	205,034,514	205,054,514	20,000
資産合計	209,213,195	209,070,981	142,214
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
募 金	2,337,000	2,317,000	20,000
指定正味財産合計	2,337,000	2,317,000	20,000
(内特定資産への充当額)	(2,337,000)	(2,317,000)	(20,000)
2 一般正味財産	206,876,195	206,753,981	122,214
(内基本財産への充当額)	(202,700,000)	(202,700,000)	0
正味財産合計	209,213,195	209,070,981	142,214
負債及び正味財産合計	209,213,195	209,070,981	142,214

